



断ち切ろう、コロナ差別。



冷静に行動するためのセルフチェック



- ☐ 特定の地域出身の人、海外渡航歴がある人について、「あの人はコロナだ」などと決めつけたりしていませんか。
- ☐ 医療従事者やその家族に対して、「感染しているかもしれない」という理由で避けたり、差別的な扱いをしたりしていませんか。
- ☐ 「誰々がコロナらしい」といった噂を耳にしたとき、「どこに住んでいるのか」「どこの学校か」などと、知りたがろうとしたり、それを他の人に広めようとしたりしていませんか。（人権侵害につながります。）

- ☐ 「感染した人は遊び歩いていた人に違いない」などと、決めつけていませんか。（どんなに気を付けていても感染することもあり、感染者を責めてはいけません。）
- ☐ 感染して治療を受けている人が肉体的・精神的にどれほど辛い状況にあるか、知ろうとしていますか。また、想像してみましたか。

協力 松波めぐみ（龍谷大学非常勤講師／（公財）世界人権問題研究センター登録研究員）

あなたも、私も、不安は同じ。思いやりを大切に、みんなで乗り越えましょう。

このポスターは〈法務省委託事業費〉により作成しています。



令和3年3月発行／京都市文化市民局共生社会推進室
京都市印刷物第022463号